

裸体の美術史

— 19世紀フランス絵画を中心に —

講師 慶應義塾大学講師 真屋 和子



アングル《奴隷のいるオダリスク》1842年

古代ギリシアにおいて成立した人間の裸体像は、西欧の美術史の流れにおいてさまざまに変貌しつづけています。私たちはどのように裸体画を鑑賞しているのでしょうか。

芸術家たちがどのように人間の体を見つめ、とらえ、それをどのように表現したのかを知ることによって、これまでとはまったく違った、深い味わいをもって裸体画を楽しむことができるでしょう。ハーバード大学美術史教授、アンリ・ゼルネールの論考をもとに、アングル、クールベ、マネなど多くの絵を見ながら、わかりやすく、ていねいに解説いたします。

〈講師紹介〉 真屋 和子 (まや かずこ)

兵庫県生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程修了。1998年慶應義塾大学博士号取得(文学博士)。現在、慶應義塾大学、一橋大学講師。日仏美術学会会員。著書:『L'《art caché》 ou le style de Proust (『隠された芸術あるいはプルーストの文体』慶應義塾大学出版会、2001年)。『プルースト的絵画空間—ラスキンの美学の向こうに』水声社、2011年。共著:『文学と絵画—唯美主義とは何か』英宝社、2005年。共訳:A. コルバン編『身体の歴史 II』藤原書店、2010年。おもな論文:『Remarques sur le tilleul dans l'épisode de la madeleine』, *Bulletin d'informations proustiennes*, N° 27, Presses de l'École normale supérieure, Paris, 1996 ほか多数。



日 時 2011年11月29日 火曜日 13:00~15:00 全1回

受講料(税込み) 会員 2,940円 一般 3,750円(入会不要)

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ講座企画の内部資料として使わせていただきます。

※講師の病气、受講者が一定人員に達しない場合などに、講座を延期または中止することがあります。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1945 (教養)
<http://www.asahiculture-shinjuku.com/>